

ハナイカリ	<i>Halenia corniculata</i> (L.) Cornaz	絶滅危惧 I 類
		リンドウ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が少ない。	写真(高橋弘) 
形態の特徴	高さ20-40cmの1年生草本。茎に4稜がある。葉は長さ2-5cm、幅1-2.5cm、全縁。花は4数性、茎や枝に頂生するか葉腋に生ずる。萼は4深裂し、花冠は4裂して背面に長い距を出し、淡黄色。雄蕊は4本。果実は蒴果。	
生態的特徴	冷温帯の草原、林縁、疎林の林床に生育する。花期は8-9月。	
分布状況	ヨーロッパ東部から東アジア東北部にかけて広く分布し、日本では北海道から九州まで分布する。岐阜県では飛騨地方の東部にわずかに見られる。	
減少要因	開発などによる生育地の破壊と山草愛好家による採取。	
保全対策	生育地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘